

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

大門中学校区	校番 25	福山市立大津野小学校
--------	-------	------------

## 2015年度(平成27年度)学校評価自己評価表

### I 福山市 めざす子ども像

福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

### II 中学校区

#### 1 めざす子ども像

自ら考え、学び、自尊感情を高める児童・生徒

#### 2 児童生徒の現状

- ・基礎・基本定着状況調査の通過率が県平均と同じか上回っている学校数  
小学校(国 3/3, 算数 3/3, 理科 1/3) 中学校(国語 1/1, 数学 0/1, 外国語 1/1, 理科 0/1)
- ・校区の学校児童・生徒の達成率
  - ①家庭学習時間 小学校(低30分以上74% 中60分以上86% 高90分以上35%) 中学校(90分以上32%)
  - ②服装・時間 小学校(服装75% 時間88%) 中学校(服装87% 時間97%)
  - ③自らあいさつ 小学校(58%) 中学校(75%)
  - ④問題行動 小学校(暴力0件 いじめ3件 不登校1人) 中学校(暴力2件 いじめ7件 不登校3人)(3月末日)
  - ⑤自尊感情 「自分の良さは周りの人から認められていると思う。」小学校37% 中学校29%

#### 3 課題

- 児童・生徒
  - ①言葉の力を基礎として、基礎的・基本的な学力の定着
  - ②規範意識の定着と基本的な生活習慣の定着及び自尊感情の向上
  - ③生徒指導の3機能の定着(自己肯定感, 自己決定力, 共感的人間関係の育成)
- 組織
  - ①力量ある教職員の育成
  - ②地域との繋がりを組織的に行う
  - ③小中一貫教育を計画的に行う

### III 自校

#### 1 学校教育目標

大きく広げる知識 積み上げる伝統 のばす体力

#### 2 経営理念

(1) 中学校区における自校の使命(ミッション)

見えない「人間の根っこ(学問・社会性)」をつくる

### (2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

- ①「知」・・・真剣に学習する学校
- ②「徳」・・・社会性を身につける学校
- ③「体」・・・体力をのばす学校

### 3 前年度重点目標と達成状況

前年度重点目標	達成状況
①基礎学力の向上 ②教師の授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査の全国平均比較 (国語A+0 国語B+6.8 算数A+5.4 算数B+3.0)</li> <li>・「基礎・基本」学力学習状況調査の県平均比較 (国語+7.9 算数+9.8 理科+5.9)</li> <li>・CRT学力調査の全国比較 (国語+4/6学年 算数+3/6学年 理科+3/4学年)</li> </ul>

### 4 本年度重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
①基礎学力の向上	①事例や根拠を挙げ自分の考えをまとめる等の書く力を高め、思考力・判断力・表現力を育む必要がある。
②自尊感情の向上	②児童による主体的な活動を推進し、自尊感情を高め、道徳的実践力を育む必要がある。
③基礎体力の向上	③自ら体力向上や健康的な生活習慣に努め、生きる力の基盤となる資質を高める必要がある。

### 5 前年度の学校関係者評価結果を踏まえた改善点

- つけたい力を明確にした評価規準の設定や「書く」活動の推進を通して、基礎学力の定着を図る。
- 外遊びの充実や授業改善を通して、体力向上を目指す。
- 目標達成に向けた方策について、積極的に情報発信をし、保護者との連携の強化を図る。

### ※ 評価基準

評価・指標評価	基準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

Ⅳ 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(中間) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み に着目)	(中間) 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
確かな学力	3	基礎学力を身につけた児童の育成		見直し	算数科における基礎学力を高める。		△算数科の単元テストの「技能」観点において、60%未満の児童を、低学年5%未満、中学年9%未満、高学年9%未満にする。 【単元テスト】		
				見直し	国語科における基礎学力を高める。		△国語科の単元テストの全観点において、60%未満の児童を全学年5%未満にする。 【単元テスト】		
豊かな心	3	約束を守り、自尊心をもった児童の育成		継続	大門中学校区スタンダードの「時間を守る」習慣を身につけさせる。		△「次の学習準備」ができていない児童を95%以上にする。 【教師評価】 【児童評価】		
				★ 新規	自尊感情を高める。		△「自分の良さは周りの人から認められていると思う。」と肯定的評価をする児童を80%にする。 【児童アンケート】		
健やかな体	1	自ら心身の健康・体力の向上を目指す児童の育成	★	見直し	体力向上を図る。		△体力テストにおける県平均以上の種目率を60%以上にする。 【測定結果】		
力量ある教職員	3	自ら意欲的に確かな授業力と専門性を高める教職員		★ 新規	小中一貫教育の推進・充実に向け、他校の実践に学ぶ。		▽異校種・同校種の授業・行事に年1回以上参加する教職員を100%にする。 【参加状況】		
				継続	授業力向上に向け、意欲的に取り組む。		▽国語科の書く活動において、つけたい力を明確にし、単元を貫く言語活動の作品を作る。(各学年 4単元以上) 【教師評価】		
市民から信頼される学校	3	保護者・地域住民から信頼される学校の創造		継続	保護者・地域・学校の連携・強化を図る。		△地域行事に年1回以上参加する児童・教職員を100%にする。 【参加状況】		
				継続	学校の取組を保護者へ積極的に情報発信する。		▽小中一貫教育に関する情報を含め、学年・学級だより、学校HPを月2回以上更新する。 【教師評価】		